

輝く未来への扉を開く学校行事 団結力と主体性で築く無限の可能性と成長の軌跡

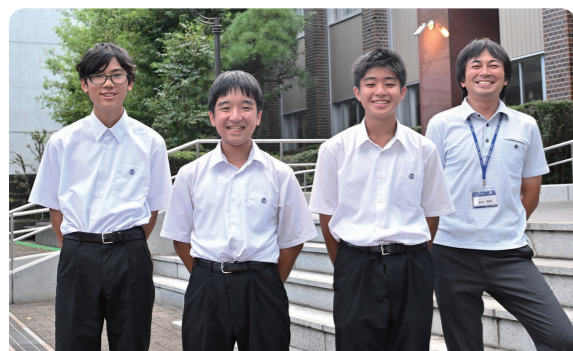
1941年創立の城北中学校・高等学校は、教育目標に「人間形成と大学進学」を掲げる男子の中高一貫校です。二つの教育目標のうち、とりわけ「人間形成」において、同校ではどのような工夫を行っているのでしょうか。中1の学年主任を務める直井智宏先生と、3名の中1生に集まっていただき、「人間形成」につながる学校行事の内容や、今後の目標などについてお聞きしました。

入学直後から多彩な行事を設け 生徒同士の相互理解を深める

まずは、中1の学年主任の直井智宏先生にお聞きします。「人間形成」の基礎となる低学年を指導するうえで、意識していることや大切にしていることを教えてください。

直井 入学直後から、クラスの団結力を高めるイベントを多く用意しています。たとえば、校歌をいかに上手に歌えるかをクラス単位で競う4月の「校歌フェス」、長野県の大町山荘で2泊3日の集団生活を行う6月の「みんなの大町」などです。クラスメートと協力して目標を成し遂げる経験を通して、相互理解を深めてほしいと思っています。

めざしているのは、生徒や教員が自分たちの学年を誇りに思うだけでなく、ほかの学年の生徒や教員からも「今年の中1はいいね」と思ってもらえるようにすること。そのためにも、「友だちのいいところを見る」「何事も全力で取り組む」「すべては思いやり」の三つを学年のスローガンに掲げ、日々の生活目標にしています。



左から、山口 稔さん、伊藤 大晟さん、小肥 祥太さん、
中1学年主任 直井 智宏先生

一次に、中1のみなさんにお聞きします。入学してからこの半年間で、どんな行事が印象に残っていますか。

小肥 6月に行われた体育祭の前に、クラスで競技の朝練習をしたことです。本番ではいい点数は取れなかったのですが、一つの目標に向けて、クラス一丸となってがんばれたことがとても誇らしかったです。

山口 6月に行われた2泊3日の「みんなの大町」です。2日目には、大町山荘―木崎湖間の往復約16kmの道のりを、地図を頼りに班で移動しました。途中で道を間違えたり、正しい道を巡ってメンバー間でもめたりしたのですが、無事に山荘まで戻ってくることでほっとしました。

伊藤 ぼくも大町のイベントが印象的です。みんなでカレーを作ったり、お風呂の後に先生や友人とおしゃべりしたりして、相互理解が深まりました。また、就寝時には自分たちで敷き布団にシーツをかけるのですが、不慣れなためみんなうまくいかず、「そこはこうするんだよ」と友人同士で教え合ったのが思い出に残っています。

―城北ならではのユニークな授業などはありますか。

伊藤 どの授業もおもしろく、初めての単元もすっと頭に入ってきます。地理の担当は直井先生ですが、大事なところは絵を描いて説明してくれるなど、物事の因果関係が視覚的に把握できて、とても理解しやすいです。

山口 理科の授業は実験が多くて気に入っています。夏休みには「理科自由研究」が課されるのですが、ぼくは熱が伝わる速さについて調べました。関心のある分野を自由に研究できるので、非常にやりがいがあります。

小肥 どの授業でも、教科書どおりのやり方ではなく、先生がオリジナルの解法を教えてくださいるので勉強になります。小学校では習わなかった応用的な内容も盛りだくさんで、学問の奥深さに触れられるのがおもしろいですね。



「みんなの大町」2日目の夕食は、班ごとに協力して飯盒炊爨を行います。事前の練習の甲斐あって、スムーズに作る事ができました。自然の中で食べるカレーは、格別の味です

文武両道に力を入れる校風が 「人間形成」の大きな土台に

―これまでの学校生活を通して、新しく興味を持ったことや関心の変化などはありますか。

山口 1学期の美術の授業では、色を使うことの大切さを重点的に教えてもらいました。ぼくは絵を描くのが苦手なのですが、その授業を通して、「必ずしも写実的な絵を描かなくても、作品は成立する」ということを学び、美術に対して以前よりも前向きな気持ちになりました。

小肥 ぼくは3歳から小6までラグビーを習っていましたが、違うスポーツに触れることも自分の成長につながると考え、部活ではサッカー部を選択しました。同じチームスポーツとして、ラグビーとの共通点・相違点を知ることができ、今はサッカーという競技に夢中です。

伊藤 ぼくも、小学校のときは水泳を習っていたのですが、部活では野球部を選びました。そのきっかけは、体験入部のときに指導してくれた先輩がとても優しく、「野球部に入るとは、人間形成にも良い影響があるのでは」と感じたからです。先輩のように、勉強にも部活にも全力を尽くすことが、人間的魅力の醸成につながっていくのだと思います。―中高生活における今後の目標を教えてください。

伊藤 クラスメートには努力家が多いため、周囲から刺激を受けています。将来的には難関と呼ばれる大学への合格が目標です。先生方との距離も近いので、そのサポートを生かし、良い結果が出せたらうれしいですね。

山口 1学期はまだ学校生活に慣れず、先生に言われたことをやるので精いっぱいでした。しかし、これからは、指示されたこと以外にも、自分の興味のある活動に果敢にチャ



東京から大町までの往復の途中に立ち寄るスポットも、クラスごとに生徒が主体となって選択しています。仲間と共に、自然や文化に触れる3日間となりました

レンジしたいと思っています。

小肥 目標は、自分の成長に力を注ぐことです。サッカー部の活動はもちろん、外部のコンクールなどにも積極的に挑戦していくつもりです。

―生徒たちを見て成長を感じることはありますか。

直井 いろいろな場面で、主体的に行動する姿が見られるようになりました。実は、例年の「みんなの大町」では、班で移動するのは復路のみで、往復で班行動をしたのは今年の生徒たちが初めてです。そうした“初めて”も難なく達成できる、ポテンシャルの高い生徒が多い学年だと感じているので、困難なこともたくさん経験しながら、人間形成にさらに磨きをかけてほしいと思っています。

―最後に、受験生に向けてメッセージをお願いします。

小肥 ぼくは、受験勉強に対してやる気がなかなか出なかったのですが、志望校を絞る段階になって、ようやくスイッチが入りました。皆さんも志望校で過ごす中高生活を思い浮かべ、モチベーションを上げてがんばってください。

山口 城北には校則はあるものの、その範囲内で生徒は主体的かつ自由に動けます。これから入学する皆さんにも、伸び伸びと過ごしてほしいと思います。

伊藤 城北は進学校でありながら、部活動も盛んな文武両道な校風が魅力です。先生や先輩が親切にフォローしてくれるので、安心して入学してください。

直井 伊藤くんが言ってくれたように、部活動が盛んで、どの生徒にも居場所があるのが大きな特徴です。23区内では屈指の広さを誇る人工芝のグラウンドや温水プール、相談に訪れやすいオープンな職員室など、設備面も充実しています。実際に足を運んでもらい、その良さを体感していただけたらうれしく思います。

学校のプロフィール

城北中学校・高等学校

- 所在地
〒174-8711
東京都板橋区東新町2-28-1
東武東上線「上板橋」駅より徒歩10分、東京メトロ有楽町線・副都心線、西武有楽町線「小竹向原」駅より徒歩20分
- TEL 03-3956-3157
- HP www.johoku.ac.jp

【各種行事日程のお知らせ】

※学校説明会などの情報は上記よりご確認ください。